



平成29年度

### 政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会 荒木明美

伝票番号 4

代表者	経理責任者	支出年月日	区分		
		29年5月13日	調査研究費・研修費・ <u>広報広聴費</u> ・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先		函館市石川町町会		支払金額	
				3,000円	
摘要（品名）		数量	単価	金額	
活動報告会 会場費		1式	—	2,500円	
暖房費			—	500円	

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領収書等貼付欄】

領 収 証

主体的市民の会 荒木あけみ様

No. \_\_\_\_\_

★ 2,500 -

但 会館利用料

29年5月13日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)

函館市石川町会  
会長 山崎 敏



収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

領 収 証

主体的市民の会 荒木あけみ様

No. \_\_\_\_\_

★ 500 -

但 日巻席料

29年5月13日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)

函館市石川町会  
会長 山崎 敏



収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

(参考様式 別紙 1)

研修会、意見交換会、報告会等の会議（開催・参加）の概要

区 分	内 容	
会議等の名称	議員活動報告会	
会議等の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒木明美の議員活動、市政の動きについて報告する。</li> <li>・ 函館市民の方々から、日頃の生活の中で感じていることや、市政に対するご意見をうかがう。</li> </ul> 以上を目的としている。	
日 時	平成29年 5月 13日（土）10:30 ～ 12:00	
場 所	石川町会館	
出席者	出席議員氏名	荒木明美
	講師等の氏名	なし
	その他参加者	9人
支出内訳		金 額
会場使用料	10～12時	2,500円
暖房料		500円
合 計		3,000円

参考様式第1号



平成29年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会 荒木明美

伝票番号

5

代表者	経理責任者	支出年月日	区分	
		29年5月14日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・ <u>資料購入費</u> ・事務費	
支払先 函館 蔦屋書店			支払金額 4,104円	
摘要（品名）		数量	単価	金額
「地方自治小六法」		1冊	—	4,104円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）



【領収書等貼付欄】

領収書  
主体的市民の会 荒木明美様

領収日 2017年05月14日  
領収書No. 0027315975  
(伝票 No. 0027315975)

¥4,104-(税込)

(内 税抜 ¥3,800- 消費税 ¥304-)



但し、地方自治小六法代として  
上記正に領収いたしました 扱者   
函館 蔦屋書店 0138-47-2600   
北海道函館市石川町85番1号

平成29年度

# 政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会

伝票番号 6

代表者	経理責任者	支出年月日	区分		
		29年7月11日	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先 一般社団法人地方議員研究会			支払金額		
			15,000円		
摘要（品名）		数量	単価	金額	
「公立病院関連質問のヒント生き残りのために何が必要か」受講代		1式	—	15,000円	

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領収書等貼付欄】

領 収 証

主体的市民の会 荒木明美様

29年7月11日

★ ￥15,000-

但 7/11 10:00~「公立病院関連質問のヒト生誕」のFAXに何か必要か  
1 講座 研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

(参考様式 別紙1)

研修会、意見交換会、報告会等の会議（開催・参加）の概要

区 分	内 容	
会議等の名称	「公立病院関連質問のヒント生き残りのために何が必要か」	
会議等の目的	公立病院の経営に関して、議会で質問できるようなヒントを得ることを目的とする。	
日 時	平成29年 7月11日(火) 10:00 ~ 12:30	
場 所	ホテルサンシティー函館	
出席者	出席議員氏名	荒木明美
	講師等の氏名	伊関友伸氏
	その他参加者	約30名
支出内訳		金 額
参加費	15,000 × 1人 = 15,000	15,000円
合 計		15,000円

## 公立病院に関する研修 参加報告・所見

主体的市民の会 荒木明美

日時：平成 29 年 7 月 11 日(火) 10:00~12:30

会場：ホテルサンシティ函館

プログラム：公立病院関連質問のヒント—生き残りのために何が必要か

講師：伊関 友伸氏 (城西大学経営学部教授)

2015 年 3 月、自治体病院経営に関して示された二つのガイドライン。

「地域医療構想策定ガイドライン」(厚労省)「新公立病院改革ガイドライン」(総務省)。

自治体病院の役割：①過疎地、②救急等不採算部門、③高度先進医療、④医師派遣拠点機能。

→これらは民間による提供では採算が合わなくて難しい医療。加えて、自治体病院の持続可能な経営をめざし、経営効率化を行うことが求められている。

前の「公立病院改革ガイドライン」がもたらしたもの：経常収支比率向上(一般会計から繰入)、収益の改善/悪化させた病院の二極化(地方の中小病院では医師不足、収益悪化)、経営形態の変更(地方独立行政法人化、指定管理、地方公営企業法全部適用、民間譲渡、診療所化、統合)

新「公立病院改革ガイドラインの策定」は、基本、前のガイドラインの踏襲。

ポイント 1. 地域医療構想のガイドラインを踏まえ、公立病院改革プランに「地域医療ビジョンを踏まえた役割の明確化」 2. 病院の新設・建替えでは元利償還金の 30%が地方交付税で措置。

「再編・ネットワーク化」に伴う整備は 40%、その他老朽化による建て替えは 25%。 3. 交付税措置の算定基準を許可病床数→稼働病床数に変更。 4. 地方交付税措置の対象となる建築単価の引き上げ。 5. 医療提供の質向上を目指す目標設定(手術件数、紹介率、逆紹介率、在宅復帰率等) 6. 経営指標は経常収支比率と医業収支比率のみ。収益向上策は医療の質向上による収入確保(DPC 機能評価点数等) 7. 職員採用の柔軟化、勤務環境整備、研修機能の充実等医療スタッフ確保のための取り組み強化 8. 事務職員にプロパー専門職員や外部人材の活用、専門スキルのある職員の計画的育成の仕組み構築

医業収益を 100 とした医業費用の構造：医療法人が収益 100 に対して費用 95.6 なのに対し、自治体病院では収益 100 に対して費用 105.8。また医療法人に比べて、自治体病院では委託費(隠れ人件費)、診療材料費が高い。特に、医薬品費は医療法人 9.3 に対して自治体病院は 16.1。

公立邑智病院の事例：救急・小児科・産婦人科はまちづくりの基本として欠かせない診療分野として必要な経費を算定。この 3 科の充実が子育て世代への安心感を生み、H17 にはマイナス 85 人の社会減が H25 には 20 人の社会増。H24 の合計特殊出生率は 2.65 となった。

産業としての自治体病院：地方の自治体病院の支出の 6~7 割は人件費。食材や物品購入など地域に落ちるお金を合計したら相当額に。

DPC 係数：機能評価係数 I II 等での加算取得に注力。特に機能評価係数 II を分析することにより、医療提供力をあげて結果として収益向上につなげることが大切。



自治体病院の弱点：職員に病院経営に求められている知識が不足、マインド(意識)も不足している(病院嫌い)、仕事があっても数年で異動(役所の人事)、業界の横のネットワークがない

「地域に1つしかない自治体病院を守るためならば自治体の繰出金は交付税+ $\alpha$  (1~2億円)ならば問題なし」という話を聞き、確かにその状況であれば分かるのだが、函館市の場合、総合病院が複数存在し、比較的近い距離に位置している。その中であって市立函館病院が不採算部門、民間がやらない部門を抱えながら、高度急性期として近隣地域からくるドクターヘリも受入れ、救命救急センターを維持し続ける、、というためにはコツコツとした地道な努力だけでは解決しないように感じる。思い切って診療科をしぼる、経営方法を変える、スーパードクターを招致する、医療ツーリズム特区になるといった大胆な発想で舵を切らないとならないのではないかな。引き続き、他の自治体病院とはやや環境が異なる函館の自治体病院について注視していく。

# 地方議員研究会

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。テーマ等同じ場合がございますので、お間違いないようご注意ください。

## 地域医療、介護特別講座 in 函館

7月10日(月)

10:00～12:30

### 地域包括ケア実現のための地方議会の役割 ～議会質問のヒント

- ・社会保障政策をめぐる動き
- ・都市部と地方で違う課題がある
- ・医療、介護施設の税の再配分機能
- ・国民健康保険の都道府県化の影響
- ・地域包括ケア関連質問のポイント

14:00～16:30

### 地域を消滅させないために何が必要か ～持続可能な医療、介護

- ・絶対的な医療、介護資源不足
- ・人口減少、地域消滅への対応
- ・まち、ひと、しごと。と人口ビジョン
- ・合計特殊出生率の自治体比較
- ・住民を地域医療の当事者に

7月11日(火)

10:00～12:30

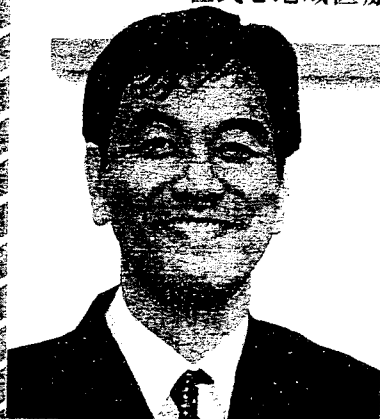
### 公立病院関連質問のヒント 生き残りのために 何が必要か

- ・自治体病院の役割と公立病院改革プラン
- ・新ガイドラインのポイントを解説
- ・公立病院経営改革事例集の活用方法
- ・地域医療構想ガイドラインのおさらい
- ・医療費の地域差指数と自治体病院

14:00～16:30

### 全国の自治体病院比較で、 データに基づく 議会質問虎の巻

- ・医師数、給与などデータの入手方法と比較の仕方
- ・地方公営企業年鑑の見方
- ・累積欠損金を考える
- ・BS、PLと使える経営指標
- ・DPCの意義と地域差指数



伊関 友伸 いせき ともとし

研究テーマは、行政評価、地域医療問題、保健・医療・福祉のマネジメント。2006年8月から2007年3月まで、夕張市の医療再生アドバイザーとして、夕張医療センター設立に携わる。兵庫県丹波市の「県立柏原病院の小児科を守る会」の活動の支援も行っている。総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会など、数多くの国・地方自治体の委員等をつとめる。全国市長会機関誌「市政」に「スクレピオスの杖を探して 地域医療再生への道」を連載中。



略歴 東京都立大学法学部法律学科卒。東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。1987年埼玉県入庁(県民部県民総務課調査係)、北埼玉郡大利根町企画財政課長(県派遣)、総合政策部計画調整課主査(計画フレーム担当)、健康福祉部社会福祉課地域福祉担当主査、県立精神医療センター・精神保健福祉センター 総務職員担当主幹、2004年城西大学経営学部マネジメント総合学科助教授、2010年同教授。医学書院「病院」編集委員。

平成29年度

# 政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会 荒木明美

伝票番号 7

代表者	経理責任者	支出年月日	区分	
		29年7月29日	調査研究費・研修費・ <del>広報広聴費</del> ・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費	
支払先			支払金額	
株式会社函館朝市まちづくりの会			1,080円	
摘要（品名）		数量	単価	金額
活動報告会 会場費		1式	-	1,080円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領収書等貼付欄】

領 収 証

主体的市民の会 様 No. \_\_\_\_\_

荒木明美

★ ￥1,080-

但 朝市利用の会場使用料にて 10:00~12:00 @ 500  
29年7月29日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 \_\_\_\_\_

消費税額等(%) \_\_\_\_\_

函館市若松町9番22号  
株式会社函館朝市まちづくりの会  
代表取締役 山中政博

収 入  
印 紙

コクヨ ヴェゲ-697

(参考様式 別紙 1)

研修会、意見交換会、報告会等の会議（開催・参加）の概要

区 分	内 容	
会議等の名称	議員活動報告会	
会議等の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒木明美の議員活動、市政の動きについて報告する。</li> <li>・ 函館市民の方々から、日頃の生活の中で感じていることや、市政に対するご意見をうかがう。</li> </ul> 以上を目的としている。	
日 時	平成29年 7月 29日（土）10:30 ～ 12:00	
場 所	朝市ひろば会議室、	
出席者	出席議員氏名	荒木明美
	講師等の氏名	なし
	その他参加者	12人
支出内訳		金 額
会場使用料	10～12時	1,080円
合 計		1,080円



参考様式第1号

平成29年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 主体的市民の会 荒木明美

伝票番号 8

代表者	経理責任者	支出年月日	区分
		29年8月24日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費 事務費
支払先 函館 蔦屋書店			支払金額 2,311円
摘要（品名）	数量	単価	金額
「町の未来をこの手でつくる」	1冊	1,512円	1,512円
「稼ぐまちが地方を変える」	1冊	799円	799円

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）


【領収書等貼付欄】

領収書  
主体的市民の会荒木明美様

領収日 2017年08月24日  
領収書No. 0017345449  
(伝票 No. 0017345449)

¥2,311-(税込)

(内 税抜 ¥2,140- 消費税 ¥171-)

但し、町の未来をこの手でつくる 稼ぐまちが地方を変える  
上記正に領収いたしました 扱者  書算代として  
函館 蔦屋書店 0138-47-2600  
北海道函館市石川町85番1号